

平成 30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	木曽ブランドコンセプトに基づく情報発信事業
事業主体 (連絡先)	木曽観光連盟 (木曽郡木曽町日義 4898-37 0264-23-1122)
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	4,968,000円 (うち支援金: 3,974,000円)

事業内容

木曽の情報を一元的に発信するよう、町村の枠を超えた情報展開及び連携ができる木曽観光連盟にて、木曽路.com 英語版の改修を行った。



【木曽路.com トップページ (英語版)】

【目標・ねらい】

- ① 木曽地域への来訪意向の喚起
- ② ホームページアクセス数の増加
- ③ 各市町村 HP 担当者との連携による情報一元化

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

ホームページ公開を3月に行い、来訪意向の喚起を、市町村観光協会情報、SNS 情報などとも連携し行った。

ホームページアクセス数は公開後の平成 31 年度を指標としているので数値効果はまだ出ていないが来年度に向けて基盤ができた。

※自己評価【 A 】

【理由】

近年増加傾向にあるインバウンド向けの情報を、既存木曽路.com (日本語版) と統一感を持たせ、また中山道を基軸とした情報を掲載することで今後アクセスの増加が期待できる。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

昨年度の日本語版改修、今年度の英語版改修で、情報の掲載内容やビジュアル面での向上を図り、統一的な情報発信の基盤ができた。今後は掲載情報を見て、実際の木曽路の旅を計画したくなるようなサイト内の回遊性向上のための記事掲載や SNS との連携等、常に新しい情報を出せるような取り組みをしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある